

令和元年

第6回仙北市議会定例会
教育行政報告

仙北市教育委員会

令和元年11月29日

令和元年第6回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告いたします。

はじめに、7月に生保内中学校で職員が亡くなったことに関しまして、11月5日付けで秋田県教育委員会へ事故報告書を提出いたしました。内容につきましては、主に市教育委員会や市長部局が関係者より聞き取りしたものとなっております。今後の秋田県教育委員会の対応を注視して参ります。

それでは、諸般の状況を報告します。

【教育総務課】

◇角館中学校の恵文高級中学訪問について

10月28日から31日の3泊4日の日程で、角館中学校生徒6人と引率教員2人が、姉妹校である台湾・台中市立恵文高級中学を初めて訪問し交流しました。参加生徒が交流をとおして体験した内容につきましては、全校集会や校内掲示、学校報などで広く全校生徒や保護者に発信されています。

◇拠点校・協力校英語授業改善事業公開研究会について

今年度、生保内小学校・生保内中学校を県南の拠点校に、英語の授業改善について共同研究を進めてきた成果を発表する公開研究会が、11月19日に同校を会場に開催されました。市内外の小・中学校等から参加した関係者100人を前に、両校の児童・生徒が生き生きと英語で伝え合う授業を展開し、参加者から高い評価が寄せられました。

◇全県中学校秋季体育大会での活躍について

11月3日、4日、県立武道館で開催された柔道競技の個人戦で、角館中学校の生徒4人が入賞しました。男子55kg級で1年の福島

誠之介（ふくしま せいのおすけ）さんが優勝、同じく60kg級で2年の鎌田宇朗（かまだ ねお）さんが第3位、女子52kg級で1年の児玉さくら（こだま さくら）さんが第3位、同じく63kg級で1年の加藤希望（かとう のぞみ）さんが第3位となっています。

◇文化、芸術面等での児童・生徒の活躍について

9月18日、秋田南中学校で開催された「わたしの主張2019ー第41回少年の主張秋田県大会ー」において、西明寺中学校3年の鈴木未来（すずき みく）さんが優秀賞に輝きました。

9月24日、美郷総合体育館リリオスで開催された秋田マーチングフェスティバル美郷大会で、角館小学校と生保内小学校がマーチングバンド・バトントワーリング東北大会出場権を獲得し、11月2日、3日に宮城県で開催された東北大会では、角館小学校が銀賞、生保内小学校が銅賞となりました。

9月28日、算数・数学の難問にチャレンジする「全県わか杉チャレンジフェスティバル」が開催され、中学校の部で角館中学校3年の高野成生（たかの なるき）さんが銀賞に輝きました。

10月5日、横手市かまくら館で開催された「第1回秋田県活性化中学生選手権県南大会」で、3年生の高根日愛（たかね ひより）さん、鈴木杏那（すずき あんな）さん、進藤千寛（しんどう ちひろ）さんが出場した角館中学校が優秀校となり、11月9日に、秋田市さきがけホールで開催された全県大会に出場しました。

◇学校環境整備関係の受賞について

今年度の秋田県学校関係緑化コンクールにおいて、神代小学校が秋田県知事賞を受賞し、全国コンクール推薦校に選出されました。

全県花だんコンクールでは、角館小学校が小・中学校では最高の特別優秀賞（秋田県教育長賞）を受賞しました。両校とも、花のいのちを育む日常の地道な活動が評価されての受賞となりました。

◇優良PTA文部科学大臣表彰について

神代中学校PTAと、大曲支援学校せんぼく校PTAが、今年度の優良PTA文部科学大臣表彰に輝きました。神代中学校PTAは、生徒会と連携・協働した四季折々のボランティア活動や、登下校時の街頭指導などが評価されての受賞、大曲支援学校せんぼく校は、シダレザクラの手入れなどの環境整備の充実、草餅作りやはちみつ研修会などの食育の充実が評価されての受賞となりました。

◇仙北市学校給食調理等業務委託指名型プロポーザルについて

11月22日、学校給食調理等業務委託指名型プロポーザルの審査会を行いました。6者指名の内、応募があったのは1者となりました。審査会では、プレゼンテーションを受け審査をし、応募のあった1者を候補者として選定しました。今後12月中旬に契約の締結を予定しています。

◇仙北市教育研究会研究大会について

11月26日、仙北市教育研究会研究大会が西明寺小学校・西明寺中学校を会場に開催されました。

当日は、市内全小・中学校の教職員が一堂に会し、大会テーマ「かかわる つなげる いかす ～探究型の授業実践を通して～」の具現化に向けた両校の授業提示と小中連携の在り方に関する提案に基づいて、充実した研究協議が展開されました。

◇生保内小学校長寿命化改修事業について

生保内小学校長寿命化改修事業の事業内容について、様々な方向での精査を行いました。

昨年からの急激な出生率の低下、来年度には文部科学省から求められている個別施設計画策定に相当の時間を費やすことを考慮し、教育委員会、総合教育会議での協議など意見をいただき、今年度の実施設設計を見送る判断をさせていただきました。

今後、議会の皆様を始め、各関係者等と協議させていただきながら進めていきます。

◇中川小学校・角館小学校の統合準備進捗状況について

来年4月の統合に向けて、中川小学校・角館小学校統合準備委員会を設置し協議を続けています。

これまで、統合準備委員会からは、校名は角館小学校、校章・校旗・校歌につきましては現在の角館小学校のものを継承すること、中川地区児童の登校方法は、中川小学校に集合してスクールバスに乘車すること、PTAに係る各種規則は、角館小学校の現行のものに依ること等の報告を受けています。

行事等を中心とした両校児童の交流が計画的に進められ、親和的な人間関係が着実に築かれています。

なお、中川小学校の閉校式典は令和2年2月9日開催の予定です。

【公民館】

◇仙北市文化祭について

仙北市の文化祭が各地区において盛大に開催されました。角館地区は10月5日、6日の両日角館交流センターにおいて、田沢湖地区は、10月26日、27日の両日生保内市民体育館において、26日にはコラボ企画として、第3回大正琴セレナーデも市民会館において開催されました。西木地区は、11月3日に西木温泉クリオンと隣接する西木林業者等健康増進施設を会場に開催され、各地区の文化祭実行委員会や芸術文化団体、学校等が一丸となり取り組みました。

3地区それぞれ特色があり、角館小学校金管バンド部や西木くりっこ太鼓の演奏、各講座の作品展示、芸能発表、野菜の販売、うどん・そばなどの食事コーナー、物作り体験教室など、日頃の芸術文化活動の成果が多数披露され、延べ1,270人ほどの方々にお越しいただき、芸術文化に親しんでいただきました。

【市民会館】

◇自衛隊音楽隊コンサートについて

10月20日、市民会館において、毎年大変好評の自衛隊音楽隊コンサートが開催され、陸上自衛隊東北方面音楽隊の迫力ある演奏を約700人の方々にお楽しみいただきました。

【学習資料館・イベント交流館】

◇巡回展「矢来町のたからもの 佐藤俊夫新潮社元会長旧蔵資料の輝き」展について

9月3日から10月20日まで新潮社記念文学館で開催しました巡回展「矢来町のたからもの佐藤俊夫新潮社元会長旧蔵資料の輝き」展は、1,232人のお客様が入館され、好評のうちに終了しました。

◇「ファール昆虫記を訳した椎名其二（しいな そのじ）展」について

10月29日から来年4月3日まで、「ファール昆虫記を訳した椎名其二展」を新潮社記念文学館で開催しています。1887年角館生まれの椎名其二は、21歳で渡米、27歳で渡仏、35歳で「昆虫記」をほん訳し、日本語版「ファール昆虫記」の礎を築きました。この度の企画展では、初公開の書簡、寄稿文ほかの資料から、椎名其二の生涯を紹介しています。郷土角館町出身者の企画展でもあり、多くの方々にご覧いただきたいと思えます。

【スポーツ振興課】

◇第6回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！について

10月6日、鹿角市「道の駅おおゆ」をスタート・ゴールとして、「第6回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！」が開催されました。大会には市内の小学生から一般まで、控え選手を含め1

8人がエントリーし、世代を超えた襷リレーでチームワークもよく、9区間で熱い走りを見せてくれました。順位は、全体で33チーム中12位、市の部では8位と健闘しました。

来年度は仙北市を会場に開催されることとなり、会場、コース設定を含め速やかに準備に取りかかりたいと考えています。

◇東京オリンピック・パラリンピックホストタウン事業について

10月16日から23日まで、田沢湖スポーツセンターにおいて、タイ王国車いすバスケットボールチームの強化合宿が行われました。この合宿は、本日、29日からタイ王国パタヤで開催される、2020東京パラリンピックアジアオセアニア予選に向けたチームの強化合宿として行われたものです。

期間中の18日には、生保内中学校2年生がタイ王国の選手にアドバイスを受けながら、車いすバスケットボールの体験や交流を行いました。生徒からは、「車いすの操作とボールの扱いを同時に行うことや、シュートの難しさに戸惑いながらも楽しく交流が出来た。」と喜びの声が聞かれました。

◇東京オリンピックへの出場決定について

10月20日、日本カヌー連盟は東京オリンピックカヌースラローム女子カナディアンシングル種目で、仙北市神代出身の佐藤彩乃（さとう あやの）さんの代表決定を発表しました。

佐藤さんは、角館高校を卒業後、オリンピック出場を目指すことで中欧スロベニアに単身で渡り、同国代表コーチの指導を受け技術面で確実に成長しているとのことでした。

11月11日には市役所を訪れ、「地元の方々の応援がすごくうれしい。本番までにはもっとレベルアップをしたい。」と、オリンピックに向けた決意を語っていただきました。

今後、市としても応援態勢を整え、市民からも大きな声援を送り

たいと思います。

【平福記念美術館】

◇「はんぼの会日本画展」について

10月22日から11月17日まで「はんぼの会日本画展」を開催しました。今回当美術館で2回目となった展示会は、院展同人の日本画家・伊藤彰耳（いとう ほうじ）先生と12人の会員が制作した、大小様々な個性あふれる作品が多数展示され大変好評でした。

紅葉シーズンとも重なり、期間中1,158人の入館者となりました。

◇「児童生徒県南美術展」について

12月1日から来年1月28日まで、「第42回児童生徒県南美術展」を開催します。

子どもたちの美術をとおしての表現力や発想力の向上、芸術に対する興味や関心を引き出すことを目的に昭和53年より開催しているものです。今年で第42回を迎えるこの美術展は、冬の児童生徒美術展として恒例となっております。

今年度は県南地区の小・中学校82校から1,037点の出品があり、昨年と比べ小学校で1校の増、出品数では44点の増となりました。

11月24日の審査会で選ばれた特賞受賞者への表彰式を、1月18日に開催します。子どもたちが一生懸命描いた力作を多数展示しておりますので、是非ともご覧いただきたく、皆様のご来館をお待ちしています。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げ、教育行政報告といたします。